

「道徳の時間」学習指導案

1 学年 第2学年3組 35名

2 主題名 やり抜く心 内容項目 A－希望と勇気、努力と強い意思

3 教材名 さかあがりできたよ (出典：「みんなたのしく」東京書籍)

4 主題設定の理由

- 児童が一人の人間として自立し、よりよく生きていくためには、やるべきことは、しっかりとやり抜こうとする意思や、自分自身を高めていこうとする意欲を持つことが大切である。そのために、どんな困難や失敗も乗り越え、努力できるようになることが必要となる。

小学校の低学年においては、好き嫌いで物事を判断し、つらいことや苦しいことがあると、くじけてしまう傾向がある。自分がやるべきこと、できるようになりたいことを続けると、頑張った分だけできることが増えていき、成長した自分になれる。途中で諦めないことは、自分自身を高めていくために大切であることを理解し、最後まで取り組む態度を育てたいと考え、本主題を設定した。

- 本学級の児童の実態を把握するため、事前の意識調査を行った。

質問内容	肯定的回答	否定的回答
①できるようにになりたいこと、チャレンジしてみたいことは、ありますか。	94% (32/34)	6% (2/34)
②できるようにになりたいことをあきらめたことがありますか。	45% (15/34)	55% (19/34)
③なかなかできなかつたら、どんな気持ちになりますか。	<u>ポジティブ</u> 86% (25/34) ・もっと練習を頑張ろう。 ・次はできるかも。	<u>ネガティブ</u> 26% (9/34) ・嫌だなあ。 ・何でできないの。
④できるようにになりたいことが、なかなかできなかつたらどうしますか。	<u>練習を続ける</u> 83% (28/34)	<u>諦める</u> 17% (6/34)

アンケートから、本学級の児童の実態を次のように分析した。

- ・ 本学級の児童のほとんどは、できるようにになりたいことやチャレンジしてみたいことを持っているが、ほとんどの児童ができるようにになりたいことを途中で諦めた経験もあると答えている。諦めた理由としては、「算数の問題を考えてもできなかった」「続けることが面倒だった」という事が挙げられている。
- ・ 本学級の児童は、できるようになるまで練習したり、練習を続けたりしようという肯定的意識は高いが、その中には「できなくても困らないから」「どうせ、できないから諦める」などの否定的な考えもある。このことから、頑張ろうという気持ちがあっても、できないことが続くと、途中で諦めてしまう傾向にある。

○ 指導にあたって、導入では、事前に行ったアンケートの集計を提示し、クラスみんなの、どんなことができるようになりたいかを知り、教材への方向付けを行う。

基本発問では、練習してもできない「わたし」の「悔しい」「止めたい」「頑張ろう」などといった葛藤をとらえさせる。

中心発問では、何日も練習してさかあがり、やっとできるようになって走って帰っていく「わたし」の気持ちを考えさせ、努力をしている過程の粘り強さや、できるようになった喜びを理解させ、努力することにどんなよさがあるかを考えさせていき、自分自身がステップアップするなどの、よさがあることに気づかせたい。

終末では、児童の経験をつなげて価値付け、これまで努力してきた自分に気付かせながら、今頑張っていることに向かって途中やめしないで頑張りたいという思いを持たせて終わらせたい。

5 他教科等との関連

福山 100NEN 教育における本校の【21世紀型“スキル&倫理観”】においては、低学年の目標である「途中で課題を投げ出さず、最後までやりきる」に関連している。

この内容項目は、各教科や常時活動などを通して幅広く関連が見られる。体育科での鉄棒、マット運動など、本教材と重なる部分もある。また、算数科での計算問題、国語科では、文章を読んだり自分の考えを書いたりする部分にも当たる。音楽発表会、マラソン大会等の学校行事を通して諦めずに努力を続けることで、よりよい自分になれることを実感できるよう、今後の体験と結びつけられる指導を行いたい。

6 ねらい

自分がやろうと決めたことを途中で諦めずにつづけていくと、大きく成長した自分になれることを理解し、自分で決めたことを達成するために、最後までやり抜こうとする態度を養う。

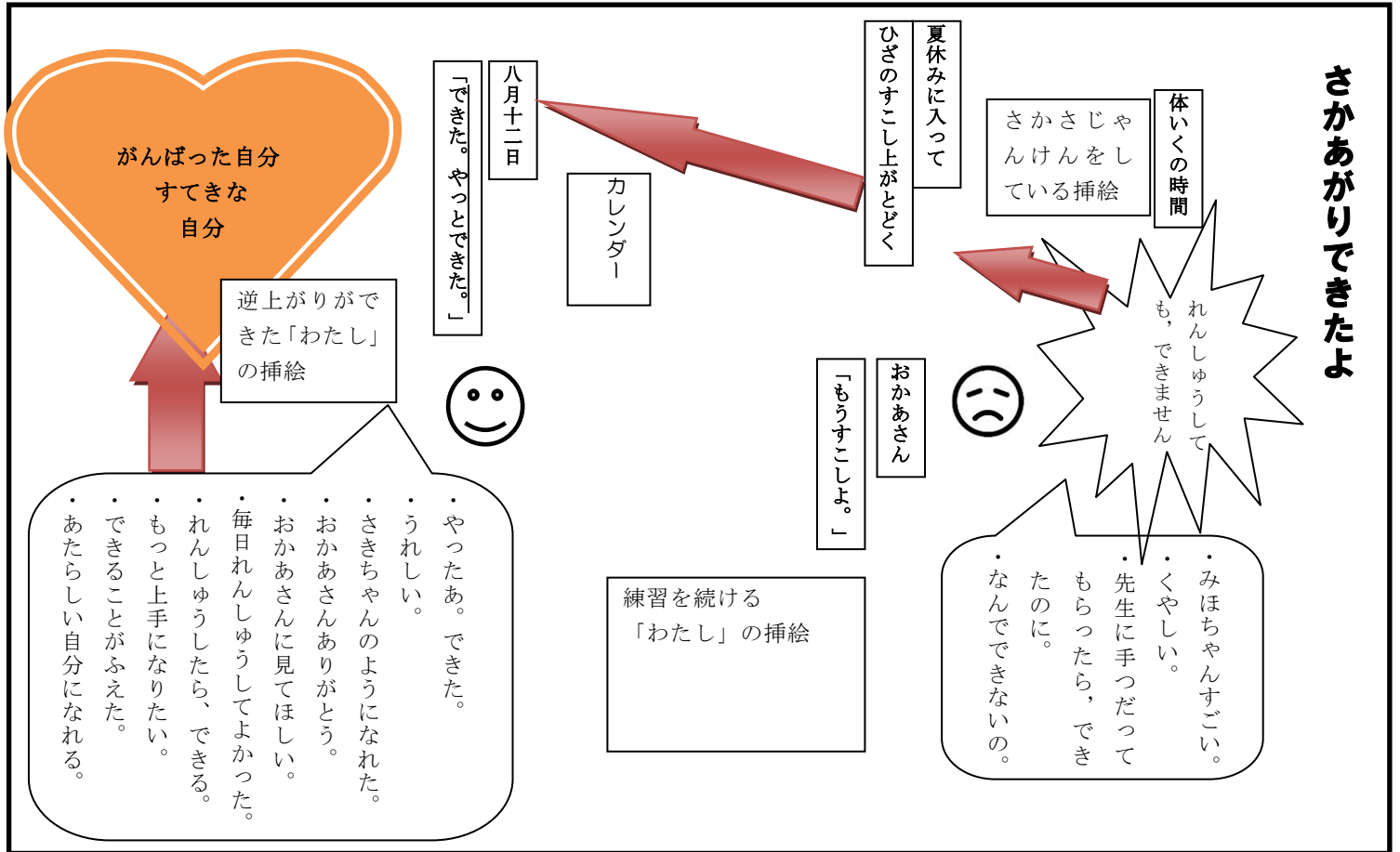
7 準備物 場面絵 短冊 ワークシート 座席表

8 学習過程

	学 習 活 動	主な発問と児童の心の動き	支援(○)・評価(★)
導入	1 「できるようになりたいこと」の結果を見る。	○この表（「できるようになりたいこと」のアンケート集計）を見てみましょう。	○できるようになりたいことをまとめ、児童がクラスの様子を見つめられるようにし、教材につなげる。
展開	2 教材「さかあがりできたよ」の前段を聞き、話し合う。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> れんしゅうしたけれど、それでもできない「わたし」はどんなことを思ったでしょう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・練習してもできないなら、もうしたくないなあ。 ・がっかり。 ・どうして、できないのだろう。 ・手伝ってもらったらできるのに。 ・どうやったらできるのかな。 ・練習する量をふやしたらいいのかな。 ・くやしいな ・できるようになるまで頑張るぞ。 	○逆上がりがなかなか出来ないネガティブな「わたし」の気持ちと、前向きな「わたし」の気持ちを考えさせる。 ○何日も練習し続けていることに着目し、できるようになりたい思いの強さを考えさせる。
	3 教材後段を聞き、「わたし」が気付いたことについて考える。	<div style="border: 3px double black; padding: 5px;"> （できた。やっと思えた。）この時「わたし」はどんな事を考えていたでしょう。 </div>	

	<p>さかあがりができるまで大変だったのに、また新しい技に挑戦したいと思うのでしょうか。</p> <p>4 これまでに、努力してできるようになったことを発表する。</p>	<p>< A:できたことへの喜び ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・やったあ。できた。 ・嬉しい。 ・さきちゃんのようになれたよ。 <p>< B:母への感謝 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さん、応援してくれてありがとう。 ・お母さんに見てもらいたい。 ・お母さん、できるようになったよ。 <p>< C:勤勉・努力 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・私、頑張った。 ・大変だったけれど、最後まで頑張れた自分は、すごい。 ・逆上がりができるようになると、決めたから頑張れた。 ・練習していくと、だんだん上手になっていくんだ。 ・毎日練習したから、できるようになったんだ。 <p>・もっといろいろな技ができるようになりたい。</p> <p>・自信がついた。</p> <p>・まだまだ頑張ればできると思うから。</p> <p>あきらめずに練習をつづけると、どんな自分になれたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと、上手になってできる技が増える自分。 ・同じようにがんばる友だちに教えられる自分。 ・続ける力がつく自分。 ・チャレンジする自分。 ・新しい自分。 ・自信がついた自分。 <p>これまで、できるようになったこと、頑張ってきたことには、どんなことがありますか。その時、どんな気持ちでしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し上がりのたしざんが、難しくてなかなかできなかったけれど、毎日練習したら、少しずつ、早くできるようになりました。 ・鍵盤ハーモニカの曲がなかなか吹けるようにならなかったけれど、諦めなかったら、吹けるようになった。 	<p>○ワークシートに書かせることにより、「わたし」の気持ちをじっくりと考えさせる。</p> <p>○座席表で見取り、意図的指名に生かす。</p> <p>★自分がやろうと決めたことを途中で諦めずにつづけていくと、大きく成長した自分になれることを理解し、自分で決めたことを達成するために、最後までやり抜こうとする思いを持つことができたか。</p>
<p>終末</p>	<p>5 自分の振り返りを交流する。</p>		<p>○ワークシートを活用し、本時の道徳的価値について自分の考えをまとめさせる。</p>

9 板書計画



10 ワークシート

① (できた。やっとなってきた。) この時、「わたし」はどんなことを考えていたでしょうか。

さかあがりできたよ 名前 ()

走って帰っている「わたし」の挿絵

自分の考えをもつことができた。 4 3 2 1

今日のじゅぎょうで新しいはっ見があった。 4 3 2 1

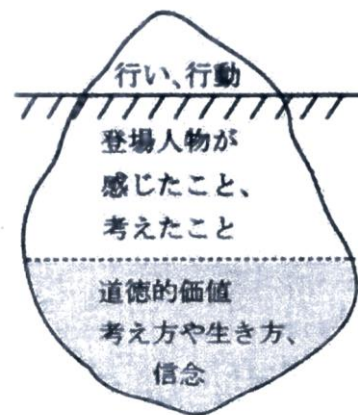
友だちの考えを聞いて、「なるほど」「と思うことがあった。 4 3 2 1

★今日のじゅぎょうで新しくはっ見したこと、「なるほど」と思ったことを書きましよう。

(2) 年 (3) 組

内容項目 A－希望と勇気，努力と強い意思

教材名 さかあがりできたよ



【道徳的価値の自覚を深める指導にするために】

行い 行動	<ul style="list-style-type: none">・ さかあがりが出てきて（できた。やっとできた。）と思う。・ 家に走って帰る。
登場人物が 感じたこと 考えたこと	<ul style="list-style-type: none">・ うれしいな。・ お母さん，ありがとう。・ みほちゃんのようになれた。・ 練習を諦めずに頑張ってよかった。・ 他の技にも挑戦しよう。
道徳的価値 考え方 生き方 信念	<ul style="list-style-type: none">・ 諦めずに頑張ると，できるようになることが増える。・ 他の事，新しい技に挑戦しようと，やる気になれる。・ 素敵な自分になれる。・ 新しい自分になれる。